

広報 Koho Gallery
展示室

第40回

降りしきる雪の中、傘をすぼめて路を急ぐ1人の女性。手前には雪の重みでしなだれる松の枝。真っ白い雪と増上寺山門の赤のコントラストが美しいこの作品は「新版画」を代表する画家、川瀬巴水によって描かれました。

「新版画」は、伝統木版画技術の復興と版画の普及活動を目指して大正時代に版元・渡邊庄三郎が提唱した新しいスタイルの版画です。江戸時代の浮世絵と同様に版元の下、絵師、彫師、摺師が分業体制で制作するものですが、橋口五葉、伊東深水、川瀬巴水など明治以降に生まれた新しい感性の作家たちが参加し、芸術性の高い版画表現が目指されました。ちなみに渡邊庄三郎は、テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」でおなじみの渡邊章一郎氏のお祖父様にあたります。

「東京二十景 芝増上寺」は、渡邊庄三郎が営む渡邊版画店から大正14年に出版されました。国内外から注文が相次ぎ、他店から擬版が作られるほど好評だったと伝えられています。昭和に入ってから摺り増しが続き、昭和8年には作成数が3,000枚を突破する勢いでしたが、庄三郎は作品の質が下がるのを避けるため、これを絶版にしまいました。

当時の美術愛好家に愛されたこの作品は、巴水の全作品の中でも傑作といわれ、現在でも最も人気のある新版画の1つに数えられています。

— 企画展 —

新版画による風景画展—美しい日本の風景—



「東京二十景 芝増上寺」川瀬巴水（個人蔵）

「新版画による風景画展 —美しい日本の風景—」では、「東京二十景 芝増上寺」をはじめ、美しい日本の景色を描いた新版画を多数展示します。葛飾北斎や歌川広重の名所絵とはひと味違う、なつかしい大正・昭和の風景をお楽しみ下さい。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 長井裕子

【会 期】 1月17日（土）～2月22日（日）

【ミュージアムトーク（展示解説）】

1月31日（土）午後1時30分～
当館学芸員

【開館時間】 午前9時30分～午後5時
（ただし、入館は4時30分まで）

【休 館 日】 1月19日、26日、
2月2日、9日、12日、16日

【問い合わせ】 那珂川町馬頭広重美術館

☎0287-92-1199

ミニギャラリー
作品募集！

あなたの作品をここに展示してみませんか？

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ：企画財政課

☎0287-92-1114



ミニ
ギャラリー

小川支所に稲澤カツさん（小川）から寄贈された押し絵

